

23/6/6 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:30

田山宏之委員長(減税・北区)：ただいまから経済水道委員会を開会いたします。
この場合、本日の案件に入ります前に、当局より発言を求めておられますので、お許しいたします。

観光文化交流局長佐治局長：失礼します。

去る6月3日土曜日に、名古屋城木造天守の内部に設置する昇降技術について、広く市民から意見を聴取するために、名古屋城バリアフリーに関する市民討論会を開催したところ、参加されていた一部市民の方から、他の参加者に対して、差別的表現を含む不適切な発言がございました。

差別発言に遭われた方は大変心を痛められたと思いますし、また、その場に参加されていた他の参加者の方や、動画配信を見られていた多くの方にも不快な思いを抱かせることになったと思います。

本来であれば、発言があった時点で制止すべきでしたが、それができなかった場合には、その直後に不適切な発言は控えるよう注意喚起すべきだったと反省しているところでございます。

この場でお詫びするとともに、市民討論会の運営体制に問題がなかったか、しっかりと調査をして、今後同様なことが起きないように、適切に対応してまいりたいと存じます。

どうも申し訳ございませんでした。

それでは本日の案件に入ります。

浅井正仁(自民・中川区)：委員長

今、局長から、今回の市民説明会の件で、謝罪というか、というものをいただきました。しかしながらこれを私達にすることではなくて、本来は、言われた方、あるいは、言った方から言われた方。これが、開催した名古屋市の役目だと思い、そこでその市民説明会にあたって、多分皆さんが詳細わかんない人も見えると思うんで、1回詳細を把握するために、そして本来であれば、委員会視察で搦手からイノベーターズ・ガレージへ行く予定ではございましたがこれは急務だね。全国のニュースにも出るような、そして本日もそのテレビを見て、何人かの市民の方から電話があったと思います。

そしてまた、抗議文を出されてることから、この委員会で皆さんで1回お諮りいただけるように、本日、正副委員長で諮っていただきたいと思います。

田山宏之委員長(減税・北区)：はい、ただいま浅井議員から、お話がありました。

ご意見につきまして、直ちに正副委員長にご一任いただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。ご異議なしと認めます。

それでは、正副委員長で協議させていただきたいと存じますので、この場は暫時休憩とさせていただきます。

なお再開時間については、追ってご連絡いたします。

13:34

14:33

田山宏之委員長(減税・北区)：ただいまから経済水道委員会を再開いたします。

休憩前に浅井委員からご要求のありました件につきまして、正副委員長で協議いたしました結果、本日予定しておりました案件に入ります前に、観光文化交流局関係で、名古屋城バリアフリーに関する市民討論会での市民の発言に対する当局の対応についてを案件追加し、当局から説明を求めたいと存じますがいかがでしょうか。

ご異議なしと認めてさよう取り計らいます。

なお資料の調製につきましては、正副委員長一任の扱いでよろしいでしょうか。ありがとうございます。さよう取り扱いさせていただきます。

それでは、資料調製のため、暫時休憩致します。

14:34

17:20

委員長：委員会討議

佐治：バリアフリー討論会

資料としてまとめた

総務課長から説明

遠藤：総務課長

1 ページ

2 ページ-8 ページ 市長発言

訂正 2ヶ所 5 ページ一番下 市といっしょして

→市長としてで

6 ページ 4 行目 傷つけた気持ちは

→傷つけた気持ちは市が仲介して

9 ページ 提出された抗議 6/5 エレベーター実行委員会

回答用紙の写し

委員長：質疑があれば

服部：訂正は記憶でははじめてだがどうするのか

委員長：正副で協議して

服部：なにを協議するか

委員長：一度

服部：間違いだった 委員長職権

委員長：しっかりと考えて対応

服部：訂正している 委員会記録として残る

委員長：委員長として訂正したことを残したい

服部：資料をどうするのかと聞いている

委員長：経験が少ない

委員会資料も訂正していく必要がある

服部：事後に訂正させて正しいものを委員会記録

委員長：その旨

服部：配布するのか

委員長：配布する

服部：完璧のものをやるのが

適宜訂正すべき

質問に入る

市民討論会のやり取り

考えを述べる

様々な意見 多様な意見が存在している

名古屋市が主催 公の会合

参加者 偏見 差別的発言 不適切な発言
あった場合には、その場で適切な表現にあらためていただくよう要望
即座に断定できない場合も
会が終わるまでに 不穏当な発言
市から何らかの発言
エレベーター
ありかた 基本的なこと
この程度の認識だったのか 残念に思う

上田：申し訳ない
その場で訂正しなかった 遺憾
不徳の致すところ
進行上、不適切な発言 非常に不適切と意識した
強い意思を持って抑制しきれなかった
運営上問題
その場で制止、訂正を求めるべきだった

服部：名古屋市の公式ページ 載せられないですね

上田：途中から中断 まだ再開していない

服部：不適切だったから？

上田：そう

服部：ある団体がネット公開している
まだ流れている
そのままの状態 名古屋市としてどう考えているのか
削除依頼すべき
事実があるのか無いのか

小鹿：ある団体が動画公開している対応
不適切 差別的発言動画 よろしくない状態
その団体に対して削除等の要請をさせていただきたい

服部：今まで何をやっていたのか

小鹿：今まで把握していなかったのか
動画の存在については承知はしていたが、
どうすべきか協議していたところ

服部：即座に判断すべきだった
なにを協議
名古屋市が公開していない
何らかの形で察知したときに対応すべき

小鹿：遅いと指摘
速やかに判断して、不適切 反省している

服部：即座にやってほしい
傷ついている人がいる 要望する
当局に対するだけでは済まない
所管の経済水道委員会
3日土曜日 月曜日で今日
委員長はアクションを起こしたのか

委員長：動いた事実は無い

服部：承知していない
即座に対応すべきだった
アクションを起こした
こう言った混乱を招いた
現場視察 できないようになった
思うところはないか

委員長：最初の委員会混乱 反省すべき
もっと深く考えて行動すべきだった

服部：党派関係ない
他会派相談して、適切な措置を講じるべきだった
反省していただきたい
私からは以上

沢田：何点か

個人の意見 運営上
再建の可否 避けた方がいいと思う
市民討論会の位置づけを教えて
これまでのバリアフリーの取り組み 今段階で
討論会、アンケート ではなく、
映像映し出された
これまでの障がい団体出席した
これまでの経緯を教えて

小鹿：これまでの方 バリアフリー 経緯の方
お尋ねいただいた

沢田：質問させなおす
資料要求したくらい
平成 29 年の段階 エレベーター設置云々
名古屋市案が出ている
11/16
12 月 障害者団体連絡会出席
平成 30 年 方針を出した
ワークショップ 丁寧に障がい当事者の皆さんの
意見を聴いた
ここまで数年間かけて行ってきた
位置づけはどういうものか

小鹿：委員から話し
結果の公表後市民から容認、反対意見いただいた
副市長から令和 5 年 2 月定例会
市民意見を聴取する機会を設けたい
公募選定技術 示して今回昇降技術設置
ご意見をお伺いする必要がある

沢田：副市長答弁が令和何年？

小鹿：令和 5 年 2 月

沢田：選挙前
ずっと検討、バリアフリー

きめ細やかに話を聞いてきたはず
文化庁に整備基本計画を取りまとめる直前に
6/12に整備の全体会議検討会議を行う
バリアフリーの中身 示して取りまとめて
文化庁に示す
急にやる おおいな違和感を抱いている
何回もアンケートを取る機会があったはず
急に決まった
答弁したから
当局はどういう議論をしてきたのか

上田：委員ご指摘 過去数年様々な議論をした
ご指摘の昇降技術 昨年末
技術そのものもさりながら、設置すること
市民の皆様のご意見 事務所、窓口に頂いた
これまでのバリアフリー討論を踏まえた上で、
市民の皆様の直接の声を受けて
一定の参考にすべき
副市長答弁しながらやった

沢田：相談した副市長はだれ

上田：松雄副市長

沢田：昇降技術選定後にいろんな意見を頂いた
理屈「終わったのでいったんここで」
方針まで示して、国際コンペ、コロナ、コンペ
急にここに来て
唐突感が強すぎる
意見の中で、傾向 史実に忠実、上まで
肌感でどれくらいか

小鹿：市民意見
令和5年度に入ってからでよいか

沢田：分けれるなら分けて
変わったのか

小鹿：この４月から主幹になった
この４月から やや反対意見が多いと認識

沢田：その前は

上田：昨年結果直後
設置容認より、反対の方が若干多かった

沢田：公募より前 エレベーターの話題
コンペをするというように落ち着いた
設置容認か反対か

上田：垂直昇降だけを対象にしていなかった
階段直接上り下り
レール上下
今回の技術 垂直昇降
それ以外 公募前 必ずしも
公募以前 両論あった

沢田：公募直後 容認がやや少ない
アンケートを取った 違和感の塊
答えた人から無作為抽出
回答には乖離があった
容認 ５階 47%
１階まで 多い
一切付けるなということか
肌感とアンケート結果に乖離があったのでは
どう受け止めているのか

上田：今回の市民討論会 事前アンケート
１階まで 16.9%
付けるな 23.4%
お電話とは乖離がある
多数決で決めるのか？
意見を頂戴した感覚とはずれている

沢田：当局の皆さんは尊重すべきである
それ以外の要素を加味すべき
小型昇降機 どう受け止めているか

上田：アンケート 同封の資料
最優秀案 概要も同封した上で聞いた
感覚的 エレベーターをつけるかつけないかとは異なる
今回の討論会冒頭 有識者
史実に忠実 理解した上でのアンケートでは無い
詳細なところまで理解をした上でのアンケートではない

沢田：6/12 に示すんでしょう

上田：議題にこう言った昇降技術 何階まで
明確に書けるかは最終段階に至っていない
検討の余地がある

沢田：6/5 ぶら下がり 市長は出す
当局は決まっていない
齟齬は大丈夫か

上田：市長の言葉は理解している
6/12 までに結論を出したい

沢田：アンケート調査 読み方はあるが、
肌感拮抗している
私の肌感覚も分かれる
そういう意味でいくと、木造復元興味が高い
ご自身でお考えを持っている
結果として多く出席したのでは
当日 36 名 属性 意見を聴いたわけでは無いが、
強い意見を持った人が集まった
結果論だが、お招きする 今はどんな感想は
このやり方がよかった？

上田：名古屋市で無作為抽出で意見 例が無かった
新しい試み

強い意見として、不適切な発言はあったものの
強くは発言しなかったが、設置容認も一定数あった
47%最上階

無作為抽出 正確な数字は把握していないが同様
市民の意見を募集するかと思う
反省しながらやり方が適切なのかは検討したい

沢田：適切だったか今後検討
差別的発言が起きた
どうなのかな 無作為抽出 半々になるのはどうか
敢えて聞く 間違いないか

上田：住民基本台帳から無作為で選定
ご希望のかたが参加 間違いない

沢田：これ以上の話はしない
これまで、肌感でも
結果は分かっていたはず
真っ二つに割れるのは予測できたはず
市民討論会 当局の皆さんの対応 問題はあった
議論では無く衝突、対立 口論
いろんな発言 対立はよくない 話し合いしましょう
望まない対立を招いた部分
市民の中で言わなかった本音が噴き出した面
理性がある
誰かを批判するのは控える
抑えきれない思いが吹き出したのでは

上田：委員ご指摘の通り
対立をする場 忸怩たる思い
市民の意見を聴くべきではないか 反省している

沢田：大事 ずっと聞いてきた
突如アンケート、市民討論会
肌感意見拮抗している
反対派、賛成派 表の場でやったらこういうことが起きる
リスクマネジメント

討論の最低限
起きたらどうするか
とても思えない

上田：不足していた

沢田：市民討論会の位置づけ
結果が6/12に示される基本計画
どう反映されるのか気になる

佐治：5000人無作為抽出
市民の縮図ではないかと考える
重く受け止めないと
バリアフリー検討会議 様々な意見が出た
総合的に考え市長に判断を仰ぎたい

沢田：市民討論会で、幸か不幸か分断が表に出た
不幸なこと
史実に忠実、忠実な復元→差別の象徴に
別の委員会でも取り上げられる
名古屋市全体の問題になる
当局はどう考えるか

上田：分断を明らかにしたとすれば大変申し訳なかった
今後の天守復元事業 分断があったとして、
どう解消するか
なんとか多くの市民に喜んでいただける復元
他の委員会 今回の事案 大変大きな影響を及ぼす
誠に深く反省を致す
名古屋市として、円滑にしたい

沢田：丁寧に障がい当事者聞いて、史実に忠実聞いた
数ヶ月のリスクマネジメントなさ
アンケート調査、無作為抽出、市民討論会
リスクだらけ 結果的に残念

日比：数点

リスクマネジメントを事前に考えられないか
人権問題
局として人権を守っていく、差別用語を許さない
市が主催
この局だけでなく他の局
当局として訂正しないと 問題認識はあったのか

上田：反省している その場で問題発言と認識
制止しようと声がけ 十分な効果を与えられなかった

日比：認識の甘さ
人権、差別用語 許さない
当日訂正

佐治：自由な討論の場、言論の自由
市民の意見を聴く 差別発言 その場では判断できなかった

日比：表現の自由と差別発言
発言を知ったのはいつ

委員長：具体的に知ったのは今日

日比：聞き取れなかった すぐ調査しなかった
当日いなかった
おそらくものものしい雰囲気
「なんて言ったの」

委員長：その場では判断できず、調査に至らなかった

日比：そういった雰囲気 調べなかったのは問題

沢田：委員長 差別したのは今日？

委員長：報道で差別発言があると知った
今日DVDを見た

浅井：DVD？出回っているの？

委員長：出回っていない

浅井：どこから入手したのか
観光文化交流局からか、

浅井：だれが

委員長：北角委員から

浅井：差別発言
DVDの言葉 削除しろと伝えたか

委員長：委員会直前で、伝えていない

浅井：服部 しっかりやる
DVD 観光文化交流局 渡すことが
全人人権、反省していない
通常ならいくら議員でも削除するのでは
資料だって、議事録 討論会
それは差別用語、人権の関係で渡せない
DVDは議員に渡す
そんな注意もできない委員の下でなにを議論したらいいのか

委員長：大変反省
削除を伝えるべきだった

浅井：あなたの下ではやれない

委員長：DVDがあった 当局に伝える

浅井：上村も持ってきた
その言葉入っているの？1年半
危機感がある
委員長、あなたの下 こんな大切な事
何を議論していいかわからない

沢田：6月4日朝刊各紙記事

私は新聞で知った

気になった

田山さん出てたんでしょう？

6/5 取り上げられた

6/6DVDではじめて分かった

危機管理のなさ 浅井委員

加えて、名古屋城復元議論 あなたの仕切れるとは思えない

6/4.5.6 どういうお考え

調べなかった？記事目にした？

委員長：新聞記事を見た

沢田：出ていた 怒号

何の行動も起こしていない

視察に行こうとしていた

甘くないか

委員長：正副委員長で相談して視察を決めた

反省すべきところは反省する

沢田：6/12 バリアフリーどうするか

名古屋市出される

6/15 なにするのか 所管事務調査

案についてイエス、ノー言えるのか

この段で、6/15 漫然と委員会開くつもりか

委員長：石垣調査、文化庁資料確認のため

沢田：あなたが召集している

確認する必要が無い

6/12 計画確認、了承

6/15 なにか異議を唱えたら変わるのか

権限を付与されているか

上田：整備基本計画 成案として確定していない

所管事務調査で諮って要検討

沢田：それでいいのか
そういうつもりで召集

委員長：問題前はそういうつもりではなかった
問題を受けて、そういうつもり

沢田：6/6 に事実確認する委員長のもとではやれない

浅井：聞き取れなかった
聞き取れなかった人は挙手して
みんな聞き取れた
聞き取れなかったのは市長とあなた
他に出ている人で聞き取れなかった人 挙手
すごいねこれ 同じ言葉が聞き取れない
何にも言えなくなった
落ち着かせてもらっていいかな

沢田：委員間討論入っていいか

委員長：委員のかたに何う
異議は

沢田：手をあげた2人 討論会にでたのか

北角：傍聴した

大谷：出席した

沢田：6/4 記事がでたあと、確認したのか
場が紛糾 確認作業はいつしたのか

北角：いくつも聞き取れなかった
該当部分ははっきりとは聞き取れなかった
手をあげた
月曜日に確認 当局に至急確認したいので、文字を起こして
確認出来ることは資料として出す

今日の昼過ぎ DVDが届いた
戻ってきて確認 田山と同じ委員会開始直前

大谷：出席した
該当発言 聞き取れなかった
北角委員 月曜日確認→同じタイミング 今日の昼

沢田：資料の提出遅かった
当局 聞き取れた人ばかり
全く把握しなかった

北角：単語は把握しなかった

沢田：言葉だけでも
仮に文字起こしや映像で無くても、聞かれれば答えるのか

上田：口頭でいただければ、お伝えせざるを得ない

沢田：どう発言があったのかは説明を受けうる立場だった

委員長：委員間討議を終了

浅井：聞こえなかった
市長のところ 2ページ 一番いやな部分
下から8行目
不快な思いをしないように
言ってもよかったのではないか
事後でも謝っておく とりあえず
「とりあえず」とは

上田：市長発言の本意を確認していない
推察 とりあえずの意味 取り急ぎというニュアンスでは
正解かどうかは

浅井：取り急ぎ
市長が「聞こえなかった」
定例記者会見 聞き取れなかった

土曜日 2日間 月曜日の記者会見
いわゆる差別発言 DVDを見せたのか
議事録を見せたのか

小鹿：DVDは見せていない

浅井：いつあなたたちは伝えたのか
市長に伝えていなかったのか
そんなこともやっていないのか

上田：不適切な単語 知ったのはいつか
当日は聞き取れなかったとおっしゃった
お伝えをした日にちは、

浅井：土曜日にやった
問題になった
日、月 記者会見
聞き取れなかった
当然教えたんだよね

小鹿：恐縮なところ 把握していない
6/3 伝えていない

浅井：いつ市長は聞いたの？知ったの？
これだけ大きな問題
DVD、議事録 見てもらっていないの？

上田：議事録 調製に時間を取っていた
不適切な単語 秘書を通じて伝えたと理解

浅井：抗議文に対してどうするのか

上田：抗議文は受け取った
しっかり精査して、真摯に対応したい

浅井：今日、総務環境委員会
スポーツ市民局 人権による委員会開くと決まった

僕は聞いて、財政福祉局委員長に、障害者差別基本法の
観点から委員会を開いてと要請した
今回の問題 表現の自由
人権、障害者差別はどうか
所管の財政局で議論して
私たちは今回の市民説明会のあり方
もう一回議論しないと
そういうことでいいか

委員長：委員長としてもそういう仕切りでしたい

浅井：よろしく
今回の市民説明会、市長が「有意義だ」
最後のご挨拶で

小鹿：最後に発言した内容 議事、内容
手元に無い
有意義使ったか

浅井：何のための委員会？
手元に無いとは

上田：有意義であったという趣旨の発言をした

浅井：局長、有意義か
対立を煽り、人を傷つける
今日8時から、フジテレビ めざまし8見たか

佐治：録画で確認した

浅井：車いすの人はなんと言っていたか

佐治：発言を控えたいくなるような、悲しい言葉を発した

浅井：局長がいわないなら私が言う
「死にたいです」
いじめの場所 小学校の場で同じことやったらどうなる

障害者を悪者
いまさらなぜ討論会
広く市民にフラットな意見
どんだけ障害者が叩かれる
市長は「有意義」 全然有意義じゃ無い
どうか
今回の市民説明会で何を得たのか 主催したあなたたちは

佐治：1階まで、つけない、5階まで
裏付け 自由な意見を確認できた

浅井：アンケートでいいじゃん
47%
意見を言わなくてもいいじゃん 違うか

佐治：アンケートをした段階
自由意見を補足 ご意見を頂戴した

浅井：何年も前からやっている
1500人から聞いたといった
20000人アンケートもやった
なぜ5000人？

小鹿：なぜ5000人
20000人アンケート 市民にアンケートを実施した
5000人 統計学上十分な確率 正確な市民の意見を反映できる

浅井：全回20000人
アンケート5000人 1500人
討論会は？

小鹿：36人

浅井：3500人は返事がこなかった
そのうちの36人 関心がある人ばかりではないか
名古屋城に対して
3500人はどうでもいい

1500人 返事をくれた まあまあ
うち興味がある 会場に来た そういう考えでいいか

小鹿：市民の方 どのようなお考え 興味関心
正確にはつかんでいない
アンケートは1500弱 29%
十分な回収率と認識
36名 一定の関心があった人に参加してもらったのでは

浅井：時間もあれ
12日 市長が結論を出す バリアフリー
15日所管事務
これって決まったことを報告する会？

上田：まだ市長との協議が終わっていない
12日方向性 案を出す
12日を経て、15日所管事務調査
成案では無い

浅井：全体会議の前に議会に出すべき案件ではないか
議会にも丁寧に説明すると言っていた
どうなの

上田：委員ご指摘の通り、所管事務調査
スケジュール上残念ながら事後
我々の取り扱いとしては同様

浅井：何のスケジュール？
何を一番大事にしている？

上田：全体会議のスケジュール
有識者の日程調整
議会にも調整
12日より前のスケジュールを設定できなかった

浅井：こんな状態で12日何やるのか
エレベーターかけるのか

上田：議題 整備基本計画全体 1章～8章
第2章、第7章 3月時点でまだ十分な記述なかった
石垣 穴蔵石垣の詳細 事務局案
7章 昇降技術 どういったバリアフリー
お諮りしたい

浅井：7章やるんでしょう なにやるの
名古屋は人権、差別 問われている
その議論を吹っ飛ばして何を決めるのか

上田：先般の市民討論会
不行き届き 人権、障害者のバリアフリー考え方
しっかりとした検討が必要
7章記述 再度検討したい
8章でした

浅井：再度何を考えるの？
1階なのか5階なのか？
人権や差別
どっちを優先するのか

佐治：世論、市長と協議する

浅井：「死にたい」あなたたちの前
解決せずに、どうやってきめるのか
あなたたちが考えないと
ねえ局長

佐治：きちんと議論整える環境を整える

浅井：間違いの無い手続をとって
以上

沢田：総務環境、財務福祉
テーマは違うが、市議会全体で議論
それぞれの委員会で交わされた議論

意見は重い 受け止めるのか
他の委員会だから関係ない？

佐治：総務環境、財政福祉
両委員会の動きを見ながら判断

沢田：6/15 案として出てくる
そうなると、もう一回全体を開くのか
6/15 手続を教えて

上田：6/15 所管で所管 示すのは案
修正を頂戴したら検討して、再度全体整備基本計画に諮る
修正したものを議論して成案としたい

沢田：相当手続上長くなる
いたずらに再建の議論を止めよう 全く考えていない
速やかに所定の手続を経てやって
まもって丁寧な手続を

服部：当日の様子 DVD
どなたに渡したのか 貸出か渡したのか
しっかり管理しているのか

遠藤：DVD どなたに渡したのかは把握している
貸与、所有権移転か しっかり決めていない

服部：否定するものではない
取り扱い嚴重注意資料
youtube 配信やっていない
そういった認識ではいけない
しっかり管理して、提供するのなら否定しない
曖昧なら渡すべきでは無いと指摘したい

委員長：他にないよう
次経済局関係、所管事務調査、現場調査
あらためて正副で協議

沢田：議事進行

視察云々 浅井委員から冒頭提案あった所管事務
予定通り視察に行こうとしていたのか

委員長：予定通り視察する予定だった

沢田：ご本人は討論会出席

何のアクションしなかった

混乱生じさせたのは反省

6/4→6/6DVDで内容確認 他の委員

口頭で聴取可能だったがしなかった

委員長：間違いない

終わり

19:08